



# 東陽の旋風<sup>かぜ</sup> ～自律貢献～

令和6年2月9日（金）No 38 発行  
文責：松本 卓也

## 確かな学力の育成に向けて Part4 ～県・市学力調査編～

12月1日（金）・4日（月）：1年生・8日（金）：2年生に実施しました熊本県および八代市学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。（今回は学力調査です。学習状況調査は次号でお知らせします。）



### (1) 学力調査

	国語	社会	数学	理科	英語
1年生	▼・▼	▼・▼	▼・▼	▼・△	▼・▼
2年生	▼・△	△・△	▼・△	△・△	▼・△

※平均正答率に対し  
「プラスを△、マイナスを▼」  
※左が全国比、右が八代市比

### (2) 学力調査結果の推移

	国語	社会	数学	理科	英語
1年生	↓	↑	↓	↑	↓
2年生	↑	↑	↑	↑	=

※前年度調査と比較し、全国比が上昇している場合は↑  
下降している場合は↓で表示

(1) 学力調査の結果から、本校生徒の学習状況は2年生は、「社会・理科の2教科は全国および市平均正答率を上回っている。他の3教科も、全国および県平均正答率は下回っているものの市平均正答率と同等以上の学力が定着している」、1年生は、「理科以外の4教科は、全国、県、市の平均正答率をすべて下回っている」ことがわかりました。

(2) 結果の推移から、昨年12月の調査結果（全国平均正答率）と比較すると、2年生は国語（+6.0）、社会（+5.0）、数学（+2.0）、理科（+11.0）の4教科で、1年生も社会（+15.0）、理科（+1.0）の2教科で伸びが見られることがわかりました。これまで取り組んできた「授業改善」および「toyo スタディタイム（学習習慣の育成）」、「toyo ティームティーティング（個別支援）」、「toyo 寺子屋（全員学習会）」の効果が明らかになりました。さらなる改善に向けて、定着確認の徹底や、学習に苦手意識を抱いている生徒に対する個に応じた指導・習熟度別指導の拡充に、東陽小学校の先生方と連携しながら取り組んでまいります。学習習慣（家庭学習の習慣化）の育成には、保護者の方のご協力が不可欠です。ご家庭での学習のようすについて、側面からの支援（ペースメーカー・サポーター・ファシリテーター）を引き続きお願いいたします。



県教育委員会作成の「熊本の学び推進プラン」啓発用チラシに、家庭学習チェックリストが掲載されていました。お子様の現在の家庭学習の状況を見直されてみませんか？

#### 【子どもと一緒にチェック】

- 家庭学習について、ルールを決めている
- 机の上は、学習用具だけで集中できる状態になっている
- 正しい姿勢で家庭学習に取り組んでいる
- 家庭学習を、決まった時刻に始めている
- 家庭学習ノートをもとに子どもとのやり取りができています

#### 【保護者がチェック】

- 子どもの家庭学習ノートを見ている
- 子どもの家庭学習ノートで、よくなった点、工夫した点をほめている
- 子どもが家庭学習を継続することを、認め、ほめ、励ましている



## 「みんなの笑顔のために自分の力を使うこと」 ～お昼の番組トヨナンデス～

「楽しい時間をお届けしたい!」、新放送委員長が意気込みを語ってくれた「お昼の番組トヨナンデス」。1月配信が31日（水）にありました。恒例の「誕生日紹介」に加え、ショートコーナー「改造人間リ○○○～恐怖!! 怪人ハンクウナイター-の罠～」等、趣向を凝らした内容に、どのクラスも笑顔、笑顔、笑顔でした!! みんなの笑顔のために自分の力を使う、立派な“自律貢献”をしてくれました。放送委員会の皆さん、ありがとうございました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ( )